

TEMM 21の成果①

TEMM 21での議論及び成果

- 日中韓、三カ国における環境協力のレビューを実施
- 海洋プラスチックごみ対策、大気汚染対策等、日中韓に共通する環境問題について、TEMMの下で今後の協力の方向性を議論
- 次期日中韓三カ国共同行動計画（2020－2024）の優先分野を盛り込んだ共同コミュニケを採択
- 他、日中、日韓の主要な議題を議論。

次期共同行動計画に盛り込まれる内容

【実施における原則】

- SDGsの達成に向け、各分野でのシナジーを最大化する共同プロジェクトの実施。
- 三カ国の取組にとどまらず、ASEAN+3やG20など、多国間の枠組への貢献を追求した取組を実施。
- 相互尊重、互惠、各国の利用可能な資源及び発展段階の差異への尊重に基づき協力。また、効果的かつ効率的な実施を追求するため随時レビュー及び見直しを実施。

【優先8分野】

- ①大気汚染の改善
- ②3R/循環経済/ゼロ廃棄物都市
- ③海洋・水環境管理
- ④気候変動
- ⑤生物多様性
- ⑥化学物質管理及び緊急時対応
- ⑦グリーン経済への移行
- ⑧環境教育・市民啓発及び市民関与

TEMM 21の成果②

日中バイ会談

- 李幹傑（リ・カンケツ） 生態環境部長と会談
- 海洋プラスチックごみ、ヒアリを含む侵略的外来種対策、気候変動等について取り上げ、先方からは覚書及びまた第三国市場協力、各分野における環境協力の進展について議論。
- 今回李部長と、両国間の環境覚書を、習近平国家主席の訪日の時期でもある来春の署名を目指していくということで合意。
- 「G20海洋プラスチックごみ対策報告書」を手交。

日韓バイ会談

- 趙明來（チョ・ミョンレ） 環境部長官と会談
- 海洋プラスチックごみ、ヒアリを含む侵略的外来種対策、大気汚染対策について議論。
- 「G20海洋プラスチックごみ対策実施枠組」に基づき各国が取組を容易に共有できるポータルサイトを公開したことを紹介。
- COP25におけるパリ協定に関する交渉等での協力について韓国側に働きかけつつ、「炭素中立性連合」への参加を促した。